小中接続単元 Hello! Junior High School Life.　 第６時（全12時）

■目　　標　・教師や有名人等についての話を聞き，Who am I?クイズを行う目的をもち，できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現を理解する。

■評価規準　・できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現を理解できる。

■準　　備　・We Can!1 デジタル教材

■関　　連　・We Can!1 Unit 4, 5, 9　We Can!2 Unit 1, 3，　Hi,friends!2 Lesson 3, 6

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 言語活動等（生徒） | 指導・援助（教師）　◎評価<方法> |
| 3分 | **○挨拶をする。** | ・全体に挨拶をする。・生徒同士の挨拶も促し，英語でコミュニケーションを図る雰囲気をつくる。 |
| 15分 | **【Small Talk】**・小学校で習った表現を活用しながら，教師のできること（得意なこと）やできないことについて簡単な話を聞く。教師の話の例 Hello, everyone. Today, I want to talk about myself. I like green because I love nature. Also, I like cooking for my family. I can cook delicious omelets and hamburgers. I like sports, too. I can’t run fast, but I can jump high when I shoot the ball in a basketball game.・教師の話からわかったことや聞き取ったことを発言する。また，教師が書く英語を見て，アルファベットの名称と音の違いや書き方に着目しながら読む。 | ・生徒が話の概要をとらえることができるよう，推測することができる語彙や表現，写真や具体物を使いながら話す。・生徒とのやりとりを通して，can/ can’t や He/ Sheについて意味や使い方を想起できるようにする。・まとまりのある英語を生徒に聞かせた後,以下のようなやりとりをして，生徒の理解した内容を確かめたり，登場した語句のつづり（アルファベット）に注目させたりする。T: What did you catch from my speech?Ss: “I like green!”T: Yes, that’s right! I like the color green.S: “I like cooking.”も聞こえたよ。S: “for my family”って言ってたね。家族に作るんだね。 等・その際，第４，５時で行った活動のように，教師がアルファベットを四線に板書しながら，名称読みと音を発音して聞かせる。 |
| 17分 | **○本時からの３時間でWho am I?クイズを作って行うという学習の見通しをもつ。**・【Let’s Watch and Think1】We Can! 1 Unit 5 (デジタル教材または教師用スクリプト)・生徒にとって身近な有名人やキャラクターについての “Who am I?”クイズを体験する。**○友だちについて “Who am I?”クイズを作って出し合うことを知り，そのために必要な英語表現を考える。** | ・初めは，We Can! 1のデジタル教材から，山中伸弥教授，石川佳純選手，長友佑都選手の自己紹介音源を聞かせ，だれのことか予想させながら，活動のイメージをつかめるようにする。・次に，生徒にとって身近な有名人やキャラクターの “Who am I?”クイズを体験させ，だれのことか考えさせる。選択肢となる複数の人物やキャラクターの写真を黒板に貼るなどして，だれのことを話しているのか推測させる。例：（Answer: 生徒にとって身近な有名人やキャラクター）Hello. I’m a singer. I like cats very much. My birthday is May 6th. I can play the guitar well, but I can’t play the drums. I can also sing happy songs. Let’s sing a song together! Who am I?※デジタル教材を使用しない場合は，We Can! 1の教師用指導書にあるスクリプトを教師が読む。・まとまりのある英語を聞かせた後，生徒の様子を見ながら，　“A hint, please!” “Do you like --?” のようなヒントのやりとりを促すことも考えられる。・“Who am I?”クイズの正解が分かった後，理解した内容と共に英語表現にも意識を向けさせる。必要に応じて，もう一度クイズの英語を聞かせ，どのような英語が聞こえたか確認させる。T: 今やってみたWho am I?クイズでは，どうやって答えが分かったの？S1: “guitar”って聞こえたから，ギターを使っている歌手かなと思って。S2: うん，“I can play the guitar.”しかも，“Happy songs”って言っていたから…・生徒が聞き取った内容や英語を確認することで，この後のインタービュー活動で使える表現を生徒に再確認させる。 |
| 15分 | **○ “Can you 〜?”や “What can you 〜?”の表現を確認し，友だちに質問する練習をする。（本時ではcan に焦点化して学習する。）**・Can you play *Kendama?*・Can you do Karate?・Can you ride a roller coaster? etc.. | ・“Who am I?”クイズを作ったり，友達のクイズに答えたりするためには，たくさんの人にインタビューをして情報を得ておく必要があることを生徒と共有し，尋ねたり答えたりする表現を練習する意欲を高める。・Can you --?の中で活用できる動詞を，中学校の教科書やWe can!から選んでおき，練習する。・教師が一方的に語彙や表現を教えるだけでなく，Can you に続く言語表現を生徒に問いかけ想起させながら，友だちに質問してみたいことを考えることができるようにする。・第２時〜３時で学習したことや友だちとのインタビューを想起させ，第７時にインタビューをするときには，“Do you like 〜?”等の表現も取り入れながらインタビューができることを意識付けておく。◎できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現を言っている。〈行動観察〉 |
| 5分 | **○振り返りをする。**・本時の活動を振り返り，振り返りを記入させる。・次時の連絡を聞く。**○挨拶をする。** | ・本時のねらいに照らして，生徒を称賛する。・次時に向けた課題や取り組みたいことについても記述するよう促す。・挨拶をする。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 15分10分 | **○自己紹介文を英語で書く。**・英文を書くときの決まりについて確認する。・間違いを含んだ英文を見て，間違いに気づき，直す。・We Can! 2 Unit1を参考にして，自分自身について伝えたいことを英語での表現を考える。・グループになり，友達と相談しながら自己紹介文を書く。 | ・英文の書き方を確認するため，あえて間違いを含んだ１文目の例を板書する。例）IamtanakayosioT: This is your first sentence. Is it OK?Ss: No! また，詰まりすぎです，先生！T: Oh, yes. Ss: 名前の最初は大文字です。T: You’re right. （書き直す。 I am Tanaka Yosio）OK?Ss: 「し」がヘボン式じゃないです。最後の点もない。T: Good. 最後の点 is ピリオド.（書き直す。I am Tanaka Yoshio.）OK, now it’s your turn. Please start writing your introduction! じゃあ，グループの友達と助け合いながら，自己紹介の文を完成させましょう。・ワークシートに記入した内容をもとに，自己紹介文を書くにはどのような表現を使ったらよいかを，グループで考えさせる。・We Can! 2 Unit1を参考にさせる。・机間指導をしながら，表現やスペルなどを支援する。 |
| **○よりよい自己紹介について考える。**・２つの例を見て，どちらがよいよい自己紹介か，また，なぜそう思うのか，という理由を考える。「例１の方がすっきりしているからいいと思う。」「例２の方がたくさんのことを伝えているからいい。」「例２は，何か伝えた後，もうひとつ情報を付け加えている。「例２は，相手に質問をしている。」・よい例を参考にして自分の自己紹介を推敲する。 | ・しばらくグループ活動をさせた後，例を２パターン提示する。＜例１＞I am Takana Yoshio.I like baseball. I can play baseball.I like ice cream. I like books. Nice to meet you.＜例２＞I am Takana Yoshio.I like baseball. I play baseball every day.I can play baseball. I play basketball at Minami Gym.I like ice cream. My favorite is chocolate ice cream.I like books. I read books every day.Do you like books, too?Nice to meet you.・例１と例２を比べて，どちらがよい自己紹介か，またそう思う理由をグループ内で話し合う。・よい方とその理由を学級全体でシェアする。・自分の自己紹介をよりよくなるように工夫させる。◎伝えたいことをWe Can!2やアドバイスを参考にしながら，英文で書いている。＜ワークシート点検＞ |
| 10分 | **○自己紹介の練習をする。**・自己紹介の練習をする。 | ・グループ内で自己紹介の練習をさせる。・机間指導をしながら，表現や発音などを支援する。グループ内でよりよい自己紹介にするために，友達と協力させる。 |
| ２分 | **○振り返りをする。**・本時の活動を振り返り，振り返りを記入させる。・次時の連絡を聞く。**○挨拶をする。** | ・本時のねらいに照らして，生徒を称賛する。・次の時間は，実際にALTに自己紹介をすることを伝える。・挨拶をする。 |

小中接続単元　Hello! Junior High School Life　第12時（全12時）

■目　　標　・英語で自己紹介をする。

■評価規準　・英語で自己紹介をすることができる。

■準　　備　ワークシート，We Can!2

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 言語活動等（生徒） | 指導・援助（教師）　◎評価<方法> |
| ２分 | **○挨拶をする。** | ・全体に挨拶し，個別に数名の生徒と英語でやり取りをする。・本時の目標と流れを生徒と確認する。T: Today, we have a special guest, Mary! Big hands!（拍手を促す）  |
| ８分 | **○ALTについて知る。**・ALTの自己紹介を聞き，ALTについて知る。・もっと知りたいことについて，質問をする。 | ・ALTの自己紹介を聞かせる。ALTの自己紹介の後，わかった内容（聞き取れた内容）を確認する。T: What do you know about Mary?S: アメリカ出身！T: Yes. She is from America.　Repeat after me.S: She is from America.T: Good. Anything else?・ALTについて，聞きたいことがあれば，質問させる。T: Do you have any questions to Mary? Anyone? Let me see, (ALTの方を向いて) can you speak Japanese? ALT: No, I can’t. I can speak only English.T: I see. （生徒の方を向いて，質問を促す）Anyone? S1: Do you like *natto*?ALT: No, I don’t. It’s not delicious. Do you like *natto*?S1: Yes, I do. It’s delicious.・ALTに興味を持つように促す。前時までの授業で，友達にインタビューをしたときに使用した疑問文を思い出させる。 |
| ８分 | **○自己紹介の練習をする。**・どんな風に自己紹介をするとよいか，考える。 | ・グループになり，各自で自己紹介の練習をさせる。わからない発音はお互いに尋ね合わせたり，教師に質問させたりする。・自己紹介の悪い例を示し，どんなことに気をつけるとよいか，確認する。（悪い例）・原稿を棒読みする。・相手の方を見ない。下を向いたまま。・声が小さい。・相手の理解を確認せず，一方的に話す。T: 今の自己紹介は，よかったかな。どうだった？Ss: 相手を見ていなかったからよくない。・自己紹介をするときには，相手を意識することが大切であることに気づかせる。 |
| 30分 | **○ALTに自己紹介をする。**・ALTに対して，英語で自己紹介をする。Hi, I am Yamada Taro.I like *takoyaki*. I sometimes make it.　I can play soccer. I practice it hard. I want to be a soccer player. Do you like soccer, too? Nice to meet you.・ALTからの質問に答える。 | ・準備と練習をしてきた自己紹介をさせる。・ALTには，それぞれの生徒の自己紹介のあとに，英語で質問をするように打ち合わせをしておく。・自分が自己紹介をしないときは，友達がどんなことを話しているか，しっかりと聞くように指導する。※学級全体の前でALTに対してひとりずつ自己紹介をさせてもよいし，各グループにALTが入り，グループ内でひとりずつ自己紹介させてもsよい。※ALT相手と限定せず，状況に応じて，自己紹介をする相手は他教科の教員や先輩，他のグループのメンバーなどと柔軟に変更してもよい。◎自己紹介をしている。＜行動観察＞ |
| ２分 | **○振り返りをする。**・ALTのコメントを聞く。・本時の活動を振り返り，振り返りを記入させる。**○挨拶をする。** | ・ALTに生徒の活動を賞賛するスピーチをさせる。・本時のねらいに照らして，生徒を称賛する。・挨拶をする。 |